

品目： 赤かぶ（温海かぶ） 露地栽培

平成 21 年度版

月旬	7 上 中 下	8 上 中 下	9 上 中 下	10 上 中 下	11 上 中 下	12 上 中 下	目標収量：2,500kg 秀品：80%以上	排水対策の徹底と 輪作で安定多収																		
栽培体系	● (高い山間) ● ● ・地上に露出した部分が、陽光と日夜温度差で鮮やかな赤紫色になる。 ・排水の良い有機質に富んだ硬質の土壌で、パリパリとした歯ざわりの良い肉質になる。 小さい葉 2/3が地上 鎮圧が十分 排水良好 葉が大きい 鎮圧が不足 排水不足						種子量 散播 300dl 播種機（条播）200dl 10a 当り 規模拡大：播種機（条播）利用、トラクタアタッチ多条有 ・うね幅 15～20cm ・株間 7～8cm 1 粒播種（裸種可能）：間引きをしないで大きさが揃い、一斉収穫ができる ・施肥例（10a 当り） <table><tr><td>肥 料 名</td><td>数量（kg）</td><td>成分、摘要</td></tr><tr><td>堆きゅう肥（完熟）</td><td>2,000</td><td>前作または前年に施用する</td></tr><tr><td>苦土石灰</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>B M ようりん</td><td>40</td><td>N 成分：5～6kg</td></tr><tr><td>M M B 複合燐化安</td><td>40</td><td></td></tr><tr><td>硫酸加里</td><td>20</td><td>過剰にしない</td></tr></table>		肥 料 名	数量（kg）	成分、摘要	堆きゅう肥（完熟）	2,000	前作または前年に施用する	苦土石灰	100		B M ようりん	40	N 成分：5～6kg	M M B 複合燐化安	40		硫酸加里	20	過剰にしない
	肥 料 名	数量（kg）	成分、摘要																							
堆きゅう肥（完熟）	2,000	前作または前年に施用する																								
苦土石灰	100																									
B M ようりん	40	N 成分：5～6kg																								
M M B 複合燐化安	40																									
硫酸加里	20	過剰にしない																								
病害	根こぶ病が発生したら「連作」しない 同一圃場でのアブラナ科の連作はしない -根こぶ病、軟腐病、べと病- -ネキリムシ、キスジノミハムシ、アブラムシ、アオムシ-						施肥は、播種の 7～10 日前に施し耕起しておく。 （土壌検査で、窒素量を測定してもらう）																			
栽培上のポイント	1．播種準備 ・排水対策（とくに転作畑） 幅 20cm、深さ 25cm 以上の明きょをうねにそって掘る。面積が大きい場合は、十文字に切る。 ・播種床を高めとし（20cm）地表面に雨水がたまらないようにする（転作畑） 弾丸暗きょ、サブソイラーを横に 2～3m おきに入れる		・施肥 堆きゅう肥は、前作か前年度に施しておく。チッソ成分が過剰だと葉だけが茂り、根部が小さく色が着かない。 豚、牛のきゅう肥やチッソ肥料は過剰にしない。播種直前の過剰では、害虫が多発しやすく、葉だけが大きくなり品質低下につながりやすい。		2．播種（好光性種子→覆土は不要） ・降雨後など、圃場はやや湿っていると発芽が揃う。 ・播種後に軽く鎮圧すると、種が流れず、根が地上に出て品質が向上する。（キャリアやローラー等を利用する。） ・播種後に除草剤散布（全面散布） 機械播種は 4～8 本		3．追肥 ・葉色が淡いときや生育が遅れている部分にのみ施す（N 成分 1～2kg/10a） 4．収穫 ・根部の肥大に良いものから順次収穫を行う。																			
	●明きょ：幅20cm 深さ25cm以上に		・根こぶ病 アブラナ科以外の作物と輪作。土壌水分が多く、酸性土壌で発生しやすい。土壌 pH は 6.5～7.0 で矯正する。（排水の徹底） ・キスジノミハムシ（根部を食害）の防除を徹底する。 播種前 — 根こぶ病 ネビジン粉剤 30kg/10a 全面土壌混和 播種時 — キスジノミハムシ フォース粒剤 4kg/10a 播溝土壌混和 ネキリムシ類は、播種前から除草対策の徹底を計ること。		根の肥大が揃う 散ばの場合は、種子量が少ないので砂などで増量して散ばする。 ・間引き 本葉 2～3 枚の頃から混み合っている部分を間引き、最終的な株の間隔を 12～15cm にして、根に陽光を当てる。		大根、にんじん、白菜、ブロッコリーなど同じアブラナ科の作物は連作しない。（根こぶ病、多発） 収穫後の作付けは品目を要検討。 品質向上 ホウ素が欠乏すると、根の表面がザラつき肉質が硬くなる。（転作、山畑）排水不良畑、未熟のきゅう肥を多投すると、根部に黒いスジや腐敗が入りやすい。 微量元素（B）肥料を使う。 排水を良くする。																			

赤かぶ（温海かぶ）露地栽培 栽培暦

平成 年 月 日

月旬	7 上 中 下	8 上 中 下	9 上 中 下	10 上 中 下	11 上 中 下	12 上 中 下	目標収量：2,500kg 秀品：80%以上 排水対策の徹底と 輪作で安定多収																														
栽培体系	● (高い山間) ● ● ・地上に露出した部分が、陽光と日夜温差で鮮やかな赤紫色になる。 ・排水の良い有機質に富んだ硬質の土壌で、パリパリとした歯ざわりの良い肉質になる。						種子量 散播 300dl 播種機（条播）200dl 10a 当り 規模拡大：播種機（条播）利用、トラクタアタッチ多条有 ・うね幅 15～20cm ・株間 7～8cm 1 粒播種（裸種可能）：間引きをしないで大きさが揃い、一斉収穫ができる ・施肥例（10a 当り） <table><tr><th>肥料名</th><th>数量（kg）</th><th>成分、摘要</th></tr><tr><td>堆きゅう肥（完熟）</td><td>2,000</td><td>前作または前年に施用する</td></tr><tr><td>苦土石灰</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>B M ようりん</td><td>40</td><td>N成分：5～6kg</td></tr><tr><td>M M B 複合燐化安</td><td>40</td><td></td></tr><tr><td>硫酸加里</td><td>20</td><td>過剰にしない</td></tr></table>						肥料名	数量（kg）	成分、摘要	堆きゅう肥（完熟）	2,000	前作または前年に施用する	苦土石灰	100		B M ようりん	40	N成分：5～6kg	M M B 複合燐化安	40		硫酸加里	20	過剰にしない							
	肥料名	数量（kg）	成分、摘要																																		
堆きゅう肥（完熟）	2,000	前作または前年に施用する																																			
苦土石灰	100																																				
B M ようりん	40	N成分：5～6kg																																			
M M B 複合燐化安	40																																				
硫酸加里	20	過剰にしない																																			
病害	根こぶ病が発生したら「連作」しない 同一圃場でのアブラナ科の連作はしない -根こぶ病、軟腐病、べと病- -ネキリムシ、キスジノミハムシ、アブラムシ、アオムシ-						施肥は、播種の7～10日前に施し耕起しておく。 （土壌検査で、窒素量を測定してもらう）																														
< 10a 当り >																																					
月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	品種名：_____ 種子量：_____ d l うね幅：_____ cm 株 間：_____ cm 条 間：_____ cm（ _____ 条） <table><tr><td></td><td>肥料名</td><td>現物数量</td></tr><tr><td rowspan="5">全量基肥</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">追肥</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							肥料名	現物数量	全量基肥											追肥				
	肥料名	現物数量																																			
全量基肥																																					
追肥																																					
栽培暦																																					

